



平成 30 年 9 月 13 日

各 位

東京都目黒区大橋一丁目 5 番 1 号
 株式会社 カイカ
 代表取締役社長 鈴木 伸
 (JASDAQ: 2315)
 問合せ先:
 代表取締役専務 山口 健治
 TEL 03-5657-3000 (代表)

平成 30 年 10 月期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向をふまえ、平成29年12月19日に公表した平成30年10月期連結業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 10 月期連結業績予想値の修正 (平成 29 年 11 月 1 日～平成 30 年 10 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	8,762	1,040	1,257	1,080	3 92
今回修正予想 (B)	7,709	△360	632	540	1 51
増減額 (B-A)	△1,053	△1,400	△625	△540	—
増減率 (%)	△12.0	—	△49.7	△50.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 10 月期)	5,300	296	728	661	2 40

2. 業績予想修正の理由

当社グループは当初、主力事業であるシステム開発での業績に加え、前期にM&Aにより取得したシステム開発の株式会社東京テック（以下、「東京テック」といいます。）および同じくシステム開発の株式会社ネクス・ソリューションズ（以下、「ネクス・ソリューションズ」といいます。）の12ヵ月分の業績の寄与、当社および当社の連結子会社である株式会社CCCT（以下、「CCCT」といいます。）で行っている仮想通貨に関するシステム構築のノウハウ獲得のために実施している仮想通貨運用を軸に平成30年10月期の業績予想を開示いたしました。

当第3四半期連結累計期間におきまして、当社のシステム開発事業における大手SIer向け開発案件が順調であったことに加え、M&Aにより取得した子会社の業績は堅調に推移しており、仮想通貨運用において第1四半期は785百万円（当社：1,099百万円、CCCT：△313百万円）、第2四半期は△116百万円（当社：△34百万円、CCCT：△81百万円）、第3四半期は78百万円（当社：2百万円、CCCT：76百万円）と当第3

四半期累計では747百万円と大幅な運用黒字となっております。

平成29年12月19日付で開示した当初の業績予想値は、平成29年12月22日に定款の変更を決議し、目的に仮想通貨の投融資・運用を追加する予定であったため、当社第1四半期における仮想通貨運用益につきましても売上になるという認識のもと当該業績予想値を策定しておりましたが、当社の定款目的変更前である第1四半期においては、当社における仮想通貨の運用損益は売上高の計上ではなく、営業外収益（915百万円）および特別利益（183百万円）での計上となりました。一方、CCCTにおいては、仮想通貨の投融資・運用は定款の事業目的に定めており、仮想通貨の運用損益は第1四半期から売上高に計上されておりますが、平成29年12月から平成30年1月に仮想通貨市場においてビットコイン等の仮想通貨の価格が大幅に下落したことで運用赤字となり、当該赤字額の△313百万円を第1四半期（平成29年11月から平成30年1月）に売上高計上しました。これらの結果、第1四半期において当社の売上げに計上できると考えた1,099百万円相当を減額した売上高に業績予想修正することといたしました。なお、第3四半期連結累計期間における仮想通貨運用損益として、売上高として351百万円を減額、営業外収益（仮想通貨売却益）915百万円および特別利益（仮想通貨評価益）183百万円へそれぞれ計上しております。

第2四半期決算発表時、当社は第3四半期以降の仮想通貨運用の成績回復やシステム開発における受注の拡大を想定していたことから、通期の業績予想値は据え置いておりましたが、第3四半期決算発表に伴い通期業績を精査した結果、第4四半期においては、仮想通貨運用で計上する売上高は113百万円程度、東京テックの売上高はおおむね当初の見込みどおりに着地する想定ですが、当社の主力事業であるシステム開発とネクス・ソリューションズの売上高は第4四半期に大きく偏重した予算策定としていたものの当初の想定どおりには受注の拡大が進まなかったことから、当初見通しを10%程度下回る見込みであります。また利益面では主に、CCCTにおいて現在開発中である仮想通貨プラットフォームシステムの先行投資により通期で費用を318百万円程度計上する見込みであることから、上記のとおり業績予想を修正することといたしました。

（注）上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上